

2011年9月

森永乳業の育児ニュース『エンゼル 110 番レポート第 65 号』発行

「ママたちの節電対策」

———100人のお母さんに聞きました———

森永乳業は、時代とともに変わりつつある母親像の理解に役立つことを願い、1993年4月から「エンゼル 110 番レポート」を発行しております。この「エンゼル 110 番レポート」は、育児相談窓口「エンゼル 110 番^{*}」への相談内容から、毎回育児に関する傾向についてまとめています。

^{*}「エンゼル 110 番」は、「子育て奮闘中のママたちのために何かお役に立てることは…」と考え、1975年5月に開設した無料の育児相談窓口です。

東日本大震災のため電力の供給不足が心配されるこの夏は、家庭でもこれまでにない節電が求められていました。小さなお子さんを持つ家庭ではどんな対策を練っているのか、また節電出来ないことは何か、もし、また計画停電があると何が困ると思うか、震災直後の計画停電を体験したママたちは何に困っていたのか、電話による調査を実施しました。その結果から、「節電はしたいが、暑さから子どもを守るには節電できないこともある」というママたちの相反する思いと、計画停電には何を備えるべきかが見えてきました。

【主なアンケート結果】

- ママの節電対策は「エアコン使用を控える」が全体の6割。
- 子どもを守るため、節電できないと思うことがある人も9割。
- 計画停電があったら困ると予想されることは、「エアコンをまったく使用できない時の不安」。
- 計画停電を経験したママが困ったことは「授乳やオムツ替えの際の暗さ」。

本件・バックナンバーに関するお問い合わせ先

<報道関係者からのお問い合わせ窓口>

森永乳業 広報部 杉内・村上 TEL03-3798-0126

<お客さまからのお問い合わせ窓口>

妊娠・育児相談「森永乳業エンゼル 110 番」 TEL 東京 03-3405-0110、大阪 06-6365-0110
月～土曜日(日曜、祝日除く)、10～14時

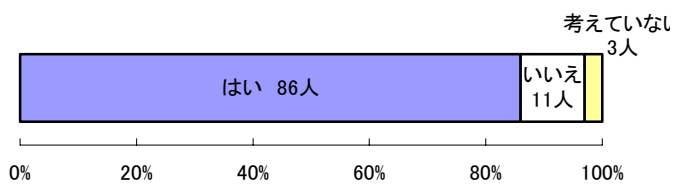
エンゼル 110 番ホームページ <http://www.angel110.jp/>

今回のテーマ「ママたちの節電対策」

—100 人のママに聞きました—

節電対策はエアコンから

この夏、節電対策でやってみようと思うことはありますか？ (N=100)

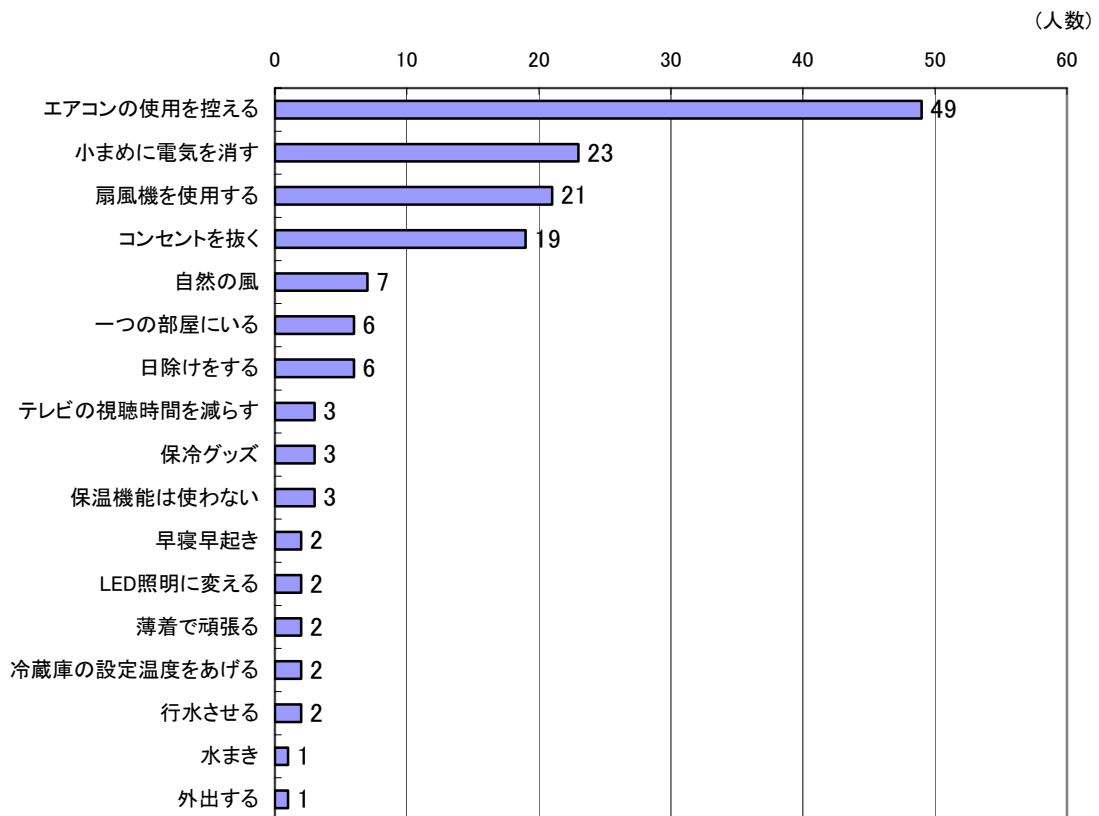


「この夏、節電対策でやってみようと思うことがあるか」とたずねたところ、「はい」と答えた人は100人中86人で、9割弱が節電対策をやってみようと思っています。(図1)

具体的には、「エアコンの使用を控える」が圧倒的で、86人中

(図1)

49人があげました。その他にも「扇風機を買った」「扇風機と併用する」「自然の風を入れる」とした人も合わせると節電対策をやってみようと思った人の63%にあたります。



具体的な節電対策は？ (N=86 複数回答)

(図2)

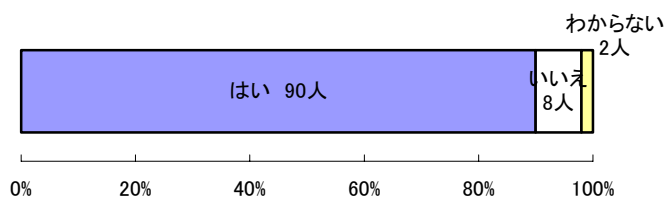
夏の日中、エアコンは家庭の消費電力の約 50%以上を占めるといわれています。エアコンの使用を工夫することがまず節電につながるという情報が、ママたちにも浸透しているようです。

「扇風機・すだれを使い、エアコンの使用をなるべく控える。設定温度は高めにする」「クーラーをつけないで寝るときは『ひんやりシート』。日中は『ひんやり首巻』をする」などの声があり、いろいろなものを併用し工夫してエアコンの使用を減らそうとしています。

エアコン以外でも「調乳のとき電気ポットを使わず、やかんで沸かして魔法瓶を使用」「テレビはおとな子どもも見る番組を決める」「早寝早起き」という声があり、忙しい子育て中でも生活を見直して節電に努めようとしているママたちの様子がわかります (図 2)。

エアコンの使用はやめられない

逆に「これだけは節電できないと思うことがあるか」とたずねたところ、100 人中 90 人が「はい」と回答しました。(図 3) 節電できない対象もエアコンが圧倒的で、90 人中

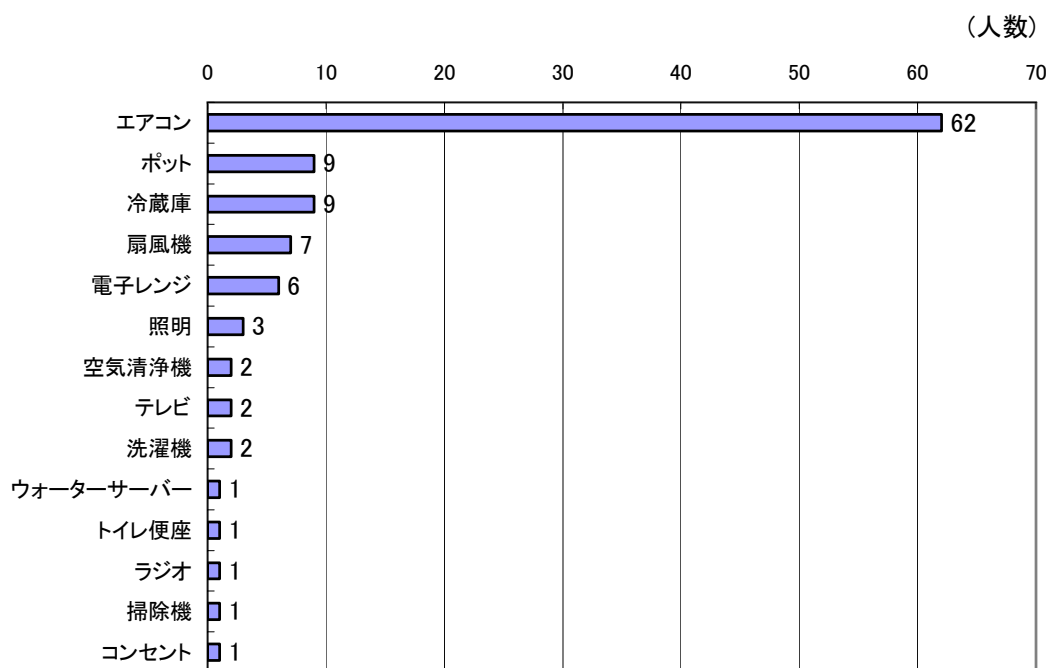


これだけは、節電できないと思うことはありますか? (N=100)

(図 3)

62 人があげました。(図 4)

具体的には、「多少の暑さならよいが、昨年並みの暑さでエアコンを使わなかったら子どもが弱ってしまうと思う」「38℃くらいあると



具体的に節電できないものは? (N=90 複数回答)

(図 4)

扇風機を使っても対処できない」「子どもが暑がりなので、エアコンの使用はやめられない。熱中症になっても困る」という切実な声があがりました。猛暑が続く夏は、大人に比べて赤ちゃんや小さい子どもたちは暑さによる熱中症にかかりやすく、命にかかわる問題です。川や山など、天然のクーラーもない都会では節電も限界があるといえます。

また、「電子レンジは離乳食作りに必要」「哺乳瓶の電子レンジ消毒」「オール電化なのでIHコンロ」という声もあり、子育て世代の生活に電化製品が深く関わっていることがわかります。

計画停電で、暗いのは不安

電力の供給状況によっては震災直後のように、今後計画停電が実施される可能性も示唆されました。そこで、計画停電があったら困ることを聞いてみると「猛暑だったら室温調節が一番困ると思う」「エアコンが使えないと子どもの熱中症が心配」「本当に暑いときはどこに避難したらいいかわからない」という夏の時期にエアコンが使えない不安の声が多くありました。

また、「冷蔵庫に離乳食をたくさん入れているので困る」「調乳ポットが使えない」「ウォーターサーバーの水が使えないと困る」「マンションなので水が出てこないのが困る」といった調理や調乳、水の心配もあります。

さらに、計画停電を体験していないママは「夜の治安が悪くなる」「夜子どもと二人だけだと怖い、心細い」「困ることがたくさんありすぎて、不安」といった、具体的なことがわからないために、漠然とした不安を抱いているようです。

懐中電灯を片手にオムツ替えは無理

実際、東日本大震災直後の計画停電を体験したママは何に困ったのか、生の声を内容別にあげてみると

【調乳・調理・水】

「離乳食をまとめて作れず、電子レンジでチンもできず。お湯で溶かせるベビーフードを大量に買った。電池がなくて（売っていなかった）、仏壇のある家でろうそくをもらった」

「ミルクを作るのにオール電化で困った」

「いつもは調乳用のお湯を電気ポットに入れていたが、停電のときは魔法瓶に入れた」

「ご飯の準備と入浴」

【照明】

「今まであたり前のように電気を使っていたが、夜間に停電したらどこも暗くて照明がついていないのが一番不安だった」

「夜遅い時間帯の停電が3回あった。娘が暗いのが初めてで泣き止まず、私もパニックになった。離乳食も食べさせられなかった」

「真っ暗な中での授乳」

「懐中電灯を持ってでは、オムツ替えをできなかった」

【暖房】

「寒くて暗いのを子どもが怖がり大変だった。ずっと毛布にくるみ抱っこしていた」

「寒いときだったので、子どもたちが風邪をひかないか心配だった」

「部屋を時間前に暖めたり、お湯を魔法瓶に準備したりいろいろ気を使った」

【生活リズム】

「めちゃくちゃ困ったことがあった。停電が夕方6時から10時のときはお風呂3時、食事4時、寝るのが5時で朝から大変だった」

【その他】

「まわりまわって物不足になった」

計画停電の間、大人だけならば夜でもろうそくの灯りに集まり何かしていれば済みます。しかし、小さな子どもがいる家庭ではそうはいきません。調乳や離乳食の準備は事前にある程度することができても、授乳やオムツ替えは待ったなしですから照明は必需品です。真っ暗では授乳もオムツ替えもできません。両手を使えるヘッドライトのようなものが、子育て世帯には必需品といえるかもしれません。

また、計画停電が実施されたのは寒い時期でした。風邪などの心配をしながらも毛布や事前の暖房などで、何とか暖を取っていた様子です。しかし、夏の時期、暑さをしのぐにはエアコンが欠かせません。日除けや冷却グッズだけでは、暑さをしのぐのには限界があります。

まとめ

「ぎりぎりまで扇風機で頑張っ、エアコンはつけない」「使わない電気をこまめに消す」など、9割弱のママが節電に取り組んでいます。その様子は震災直後、被災地のママたちを思いやる声を電話相談でも伝えてきてくれていたママたちの思いにつながっているように思います。

しかし、中にはちょっと頑張り過ぎのママもいます。7月の上旬、「赤ちゃんが一日中ぐずっていて、寝てくれない」という相談がありました。状況を伺ってみると節電対策でエアコンの使用を控え、部屋は30℃あると聞き、相談員も驚きました。すぐエアコンを入れて涼しくしてあげるようにおすすめし、赤ちゃんの機嫌も落ち着いたようです。

赤ちゃんや小さい子どもたちは大人より体の機能も未熟ですから、熱中症になりやすく、夏の暑さ対策は欠かせません。他に涼を得る決定的な方法がない状況では、節電は考えていても、エアコンを使わないわけにいかないというのがママたちの本音でしょう。

確かにエアコンの電力消費量は大きいですが、エアコンの風向きを調節し、室外機の置いてある場所の環境を見直してはいかがでしょうか。そうしたことで、消費電力を下げることも可能です。また、緑のカーテンやすだれ、冷却グッズを利用すると、さらに過ごしやすさがアップすると思われます。

この夏は工夫して、無理をしない節電を心がけるとというのが現状といえそうです。

調査の概要

- 対 象 : 「エンゼル110番」に電話をいただいた子育て中のママ100人
- 調 査 方 法 : 電話による聞き取り調査
- 調 査 期 間 : 平成23年6月7日～23年7月14日
- 対 象 者 の 属 性 : 「母親の年齢」10代…1人、20代…28人、30代…59人、
40代…9人、不明…3人
「子どもの年齢」6ヵ月未満…43人、1歳未満…31人、
2歳未満…14人、3歳以上…11人（兄弟を含む）

「居住地」北海道…1人、東北…2人、関東…65人、北陸…2人、
近畿・東海…21人、甲信越…3人、中国・四国…3人、
九州…1人、不明…2人